

## 【補足説明】

### (目的)

古座川町観光協会という組織に古座川に関わるあらゆる情報が集約され、「プラットフォーム」として機能していく中で、ただ見るだけで無く積極的に「関われる」仕組みがあり、地域住民外部の方問わず、関わる人たちすべての「誇り」を醸成し、「底上げ」がなされる母体として機能し、古座川町の「関係人口」の増加＝ファン作りに寄与できるサイトを作る。古座川町に関わる、すべての人々にとって「自分事」だと感じてもらえるサイトにしていきたい。

### (サイトイメージ)

ただただ観光名所や飲食宿泊の宣伝となるイメージではなく、その「背景」つまりは「人」に光が当たり、その「人」から派生する形で「お店」「商品」「場所」が繋がるイメージ。

→なぜなら、他の地域と圧倒的に差別化されうるのは、風景や商品ではなく、「人」だから。これからの観光は従来の「遊ぶ」「食べる」「楽しむ」検索から、これらを形作っている「人」検索の時代へと舵を切っていくことが予想される。この人に会いたい、この人が作る商品を手にしたい、食べてみたい、と思わせる方向性を体現したサイトが望ましい。パーソナリティが感じられる仕組みがあるのがベスト。

### (底上げのイメージ)

○古座川町民、すべての底上げを考えたときに、何に特化してブランディングするのが効果的かを考えた際、「水」が最も適していると考えます。

○古座川町全 35 集落のうち、実に半分近い 18 集落に「水」に関係した名前がついている。

○本流支流問わず、その近辺に集落があり、生活があり、産業があり、文化がある。つないでいるのは「水」であり、その「水」そのものの価値を高めることが、底上げに最も近づくと考える。

○「水」をテーマに地域が、文化が、産業が、そして、「人」が繋がる。

### (コンテンツイメージ)

○「水」をメインテーマにし、その「水」が「人」をつないでいくランドデザイン

○「水」の価値を高めるブランディング戦略と、「人」にスポットが当たる構成

○コンテンツは動画とテキスト併用

○「人」の暮らしと集落、自然、文化、などがナチュラルにゆるやかに繋がる構成

○ただ単に情報を得るサイトではなく、サイト来訪者が何らかの形で「参加できる」仕組み

※参考（将来展望）

今後搭載していきたい機能。

- ショップ機能をつける
- クレジット決済必須。WEB マネー決済もできれば対応
- 会員希望者はサイトから即時入会可能に
- WEB を通じた「参加型の仕組み」を取り入れる（例 写真やテキスト投稿などでコンテンツ制作に関わる、など）
- サイトマップと各観光スポットとが GPS 連動。その場でスポットにまつわる解説や画像動画などが見られる仕組みが欲しい